

愛知県の魚のことを知ろう！ 愛知県栽培漁業センター見学会



2026年4月23日

2026年度 環境ボランティアサークル 亀の子隊 第2回 海の環境を学ぶ会

2026年5月23日(土)

愛知県内唯一の栽培漁業センターが渥美半島先端にあります。亀の子隊のために特別に、休業日の見学を実施してくれます。3年ぶりにリニューアルした新しい施設も見学できます。

愛知県の漁業のことを少し学びませんか？

大きなアワビ！



参加費

中学生以上 300円
保育園～小学生 100円 (保育園未満 無料)
* 小学4年以下の子には保護者も参加してください。

募集人員

20～30人☆先着順

集合場所

栽培漁業センター展示普及棟
* 受付時間内に来てください

持ち物・服装

- 服装 自由
* 水にぬれて滑りやすいところがあるので、長靴持参です。子ども用は必ず持参して下さい。大人用は借用可です。
- 持ち物 特になし 飲み物があるとよい
建物内は暑いことも予想されます。暑さ対策をしてきて下さい。

生きている
ナマコに触れ
るかな？



日程

受付 9:40
～10:00
10:00
あいさつ・説明
10:05
説明ビデオ視聴
10:25
トイレ休憩
10:30
種苗生産施設見学
・アワビ・クルマエビ
・アユ・ナマコ
・トラフグ
等を育てている施設
見学です。
11:30
集合写真・解散



申込 締め切り 5月18日(月)

タイトルを「栽培漁業センター見学会参加希望」とし、下記のことを明記し、メールにて申し込んでください。右のQRコードからも申し込みできます。

E-mail yoshiharu@kamenoko.org

* 申し込まれ方には返信をしますので、PCからのメールが受け取れるようにしてください。

①参加者氏名②年齢(子供は学年)③学校名④連絡先(携帯)



この活動は『三五自然共生財団』『中部まちづくり助成』『セブンイレブン記念財団の助成』『あいち森とみどりづくり助成』を受けています。



西の浜はゴミ箱じゃない！！

西の浜クリーンアップ活動

2026年5月17日(日)10:00~11:00

活動場所：ポイントHあたりの海



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

- ◇活動について◇
- ・どなたでも参加OKです。
 - ・ゴミ袋・軍手はこちらで用意します。
 - ・手ぶらで参加OKです。
 - ・雨天時は原則中止です。
 - ・(当日、迷う場合等は朝 HP に掲載)
 - ・駐車場はありません
海を左に見て堤防脇道路に縦列駐車してください
 - ・受付で名簿チェックしてください
 - ・終了後に伊良湖の店で使える参加証を配布します
 - ・記録作成のため、写真や動画の撮影をします。

NPO法人 環境ボランティアサークル 亀の子隊 ☎090-9123-7983



海はすべての命の源です。
 私たちは、
 大昔の人たちのように
 もっともっと
 海を大切にしなければ
 ならないと思います。
 そして、
 21世紀に生きる私たちは
 きれいな海を守っていきたく
 思います。



みんなで、きれいな海を
守りましょう

この活動は『あいち森とみどりづくり助成』『セブン-イレブン活動助成』『三五自然共生財団』の助成を受けています。

亀の子クラブ

NPO 法人環境ボランティアサークル 亀の子隊 通信

NO. 300 2026年4月22日号
発行責任 亀の子隊事務局

2026年度がスタートしました。

通算375回目の
西の浜グリーンアップ
2026年4月18日
参加者数 50名
ゴミの総重量 130Kg
キャップの枚数 548個



今年も、渥美半島で開催される中部実業団駅伝に出場するチームの中から「トヨタ自動車陸上長距離部」のみなさんの参加で始まりました。この数年、4月の活動に参加してくれています。選手がしっかり集まれるのは、



この時しかないと言っていました。

選手に話を聞くと、西山雄介選手は、岐阜のハーフマラソンにでるとか、吉居大和選手は、アジア大会の選手選考会になるような大会に出るとか、それぞれ目の前に出場する大会があるようです。そんな中で、こうして毎年、西の浜の活動に参加してくれることは本当にありがたいことです。



キャプテンとして最後に代表挨拶をしてくれた太田智樹選手は、ハーフマラソンの日本記録保持者。今年入部した箱根駅伝で活躍した吉井俊介選手もふくめて全員で選手14名。佐藤総監督も含めて全員で19名参加してくれました。



トヨタの選手以外にも、毎月参加してくれている「パチンコオータ」「イオスエンジニアリング & サービス」「グリーン海事」さんに加えて、今回、蒲郡に事業所がある「鈴中工業」さんの参加もありました。田原市内の小学校の多くが PTA 総会で参加者を心配しましたが、一般参加の人たちも加えて50人で活動できました。



浜に下りると、大きなスナメリが打ち上げられているのを見つけました。やはり体はポロポロでした。豊川市から参加している隊員たちに穴を掘って埋めてもらうようにしました。しかし、穴を最後まで掘るのは大変な様子だったので近くにいた大人の人

たちをお願いをして埋めきることができました。

ちょうど引き潮で浜は広がっていましたが、数年前から浸食がすすんでいます。何メートルも浜が削られて浜崖できました。満潮になると浜崖のあたりまで海水が来ます。流されてきたゴミが留まる砂浜がなくなっています。ゴミが少なくなっているように見えますが、きっと海の中に漂っているのだと思います。



冬から春にかけて季節風が吹き、海が荒れます。それは、海がゴミを吐き出すのに必要なのです。もっともっと吐き出せばいいと思っています。人が捨てたゴミ、人が処理するのです。

